

A9

(19)



JAPANESE PATENT OFFICE

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: **2001031521 A**

(43) Date of publication of application: **06.02.01**

(51) Int. Cl

A61K 7/00
A61K 7/06
A61K 7/075
A61K 7/08
A61K 7/50
A61K 31/00
C11D 3/386
C11D 7/44

(21) Application number: **11201863**

(22) Date of filing: **15.07.99**

(71) Applicant: **ICHIMARU PHARCOS CO LTD**

(72) Inventor: **KAWAI NORIHISA**
MINOURA KATSUKO
WAKAMATSU KANAE

(54) **COSMETIC COMPOSITION CONTAINING
MOISTURE-RETAINING VEGETABLE EXTRACT**

(57) Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To obtain a cosmetic, bathing agent or detergent composition containing a moisture-retaining vegetable component exhibiting the moisture-retaining effect continuing over a long period and effective for preventing, ameliorating or improving the skin troubles such as dryness, roughened skin,

chaps, kibes, dandruff, itchiness and inflammation and hair troubles such as dry hair, looseness, split hair and broken hair or imparting luster to the hair.

SOLUTION: The objective cosmetic, bathing agent or detergent composition contains two or more vegetable extracts selected from cucumber, Panax ginseng, Chinese matrimony vine (*Lycium chinense*), loquat, pine and fermented milk.

COPYRIGHT: (C)2001,JPO

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2001-31521

(P2001-31521A)

(43) 公開日 平成13年2月6日 (2001.2.6)

(51) Int.Cl.⁷

識別記号

F I

テマコード (参考)

A 6 1 K 7/00
7/06
7/075
7/08
7/50

A 6 1 K 7/00
7/06
7/075
7/08
7/50

K 4 C 0 8 3
4 H 0 0 3

審査請求 未請求 請求項の数 3 O L (全 21 頁) 最終頁に続く

(21) 出願番号

特願平11-201863

(22) 出願日

平成11年7月15日 (1999.7.15)

(71) 出願人 000119472

一丸ファルコス株式会社

岐阜県本巣郡真正町浅木318番地の1

(72) 発明者 河合 徳久

愛知県名古屋市中区大須3丁目38番15号

(72) 発明者 箕浦 克子

岐阜県岐阜市難倉762番地の1

(72) 発明者 若松 香苗

岐阜県大垣市羽衣町1丁目10番地の6

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 保湿性植物抽出物を含有する化粧品組成物

(57) 【要約】

【課題】 長時間保湿効果が継続する保湿性植物成分を含有し、皮膚に対しては乾燥、肌荒れ、ヒビ、アカギレ、フケ、カユミ、炎症性疾患の予防、軽減又は改善に、また毛髪に対しては、乾燥、パサツキ、枝毛、切れ毛、光沢付与等に奏効する化粧品、浴用剤、洗剤組成物を提供する。

【解決手段】 キュウリ、オタネニンジン、クコ、ビワ、マツ、発酵乳の中から選ばれる2種以上の植物抽出物を含有する化粧品、浴用剤及び洗剤組成物とする。

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 キュウリ、オタネニンジン、クコ、ビワ、マツ、発酵乳の中から選ばれる 2 種以上の植物抽出物を含有する化粧料組成物。

【請求項 2】 キュウリ、オタネニンジン、クコ、ビワ、マツ、発酵乳の中から選ばれる 2 種以上の植物抽出物を含有する浴用剤組成物。

【請求項 3】 キュウリ、オタネニンジン、クコ、ビワ、マツ、発酵乳の中から選ばれる 2 種以上の植物抽出物を含有する洗剤組成物。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、化粧料、あるいは日用雑貨である浴用剤や洗剤組成物に関するものであって、保湿性植物抽出物を含有し皮膚や毛髪に対して潤いを与え、生き生きとした健全な皮膚または毛髪を維持、再生する上で有用な組成物を提供するものである。すなわち、皮膚に対して、乾燥、肌荒れ、ヒビ、アカギレ、フケ、カユミ、炎症性疾患等の予防、軽減又は改善に、又、毛髪に対しては、乾燥、バサツキ、枝毛、切れ毛、光沢付与等に有効な化粧料類、浴用剤、あるいは洗剤組成物に関する。

【0002】

【従来の技術】人の皮膚や毛髪は、健全な状態であるときは適度の保湿性を有し、通常は特別なケアを必要としないが、さまざまな環境要因（例えば、温度変化、湿度変化、光、水との接触等）や、洗剤等との接触、あるいは老化によって、しばしば変化・支障をきたすことがある。すなわち保湿機能が低下した皮膚や毛髪は、乾燥し、硬く、光沢や弾力性も失われ、カサカサとした状態となる。こうした乾燥皮膚は、近年、急増傾向にあるアトピー性皮膚炎との関連性も指摘されており、様々なスキントラブルを招く恐れがある。また毛髪にあっても光沢の消失、枝毛、切れ毛といったトラブルが発生する。さらにこれらが進展すると、シミ、シワ、脱毛等の深刻な状態を招くと考えられている。

【0003】従来より、皮膚や毛髪の乾燥を防ぐために化粧品等の外用剤にグリセリン、プロピレングリコール、1,3-ブチレングリコール、その他の多価アルコールをはじめ、油脂成分、アミノ酸、蛋白質、多糖類、ムコ多糖類等が利用されてきた。

【0004】これらに見られる目的は、皮膚や髪に塗布することで皮膚を作り、水分の蒸散を防いだり、天然保湿因子：NMF (Natural Moisturizing Factor) と言われる角質層成分に近づけるべく工夫なされたものであった。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、従来の保湿成分では、感触性、保湿効果の持続性、安全性、物理化学的安定性といった点において未だ満足されるもの

ではなかった。特に、従来成分による保湿効果は一時的であり、肌荒れや枝毛の防止又は改善等、健全な皮膚または毛髪を維持、再生する意味で十分な外用組成物とは言い難いものであった。

【0006】本発明は、かかる課題を解決するものであって、長時間保湿効果が継続する保湿性植物成分を含有し、皮膚に対しては、乾燥、肌荒れ、ヒビ、アカギレ、フケ、カユミ、炎症性疾患等の予防、軽減又は改善に、又、毛髪に対しては、乾燥、バサツキ、枝毛、切れ毛、光沢付与等に奏効する化粧料又は浴用剤、あるいは肌荒れ、ヒビ、アカギレ等のスキントラブルが起りにくいように改良された洗剤組成物を提供する。

【0007】

【課題を解決するための手段】本発明で使用する植物は次の通りで、何れも、葉、茎、根、花、種子あるいは全草を使用することができる。また、下記の植物を起源とする生薬を利用してもよい。

【0008】(1) キュウリ *Cucumis sativus* L. (ウリ科)、別名：cucumber(英)、胡瓜

(2) オタネニンジン *Panax ginseng* C.A. Mey. (= *P. schin-seng* Ness) (ウコギ科)、別名：asiatic ginseng; ginseng(英)、高麗人参、朝鮮人参、人參

(3) クコ *Lycium rhombifolium* Dippel ex Dosch et Scriba (L. chinense Mill.) (ナス科)、別名：box thorn; matrimony vine(英)、枸杞

(4) ビワ *Eriobotrya japonica* (Thunb.) Lindl. (バラ科)、別名：loquat; japanese medlar(英)

(5) セイヨウアカマツ *Pinus sylvestris* Linne (マツ科)、別名：ヨーロッパアカマツ

(6) 発酵乳 牛乳又は脱脂乳を乳酸菌（例えば、乳酸連鎖球菌、乳酸桿菌）などで発酵させたもの。

【0009】これら植物から適当な溶媒を使用して有効成分を抽出する。溶媒は、水、アルコール類（例えば、メタノール、無水エタノール、エタノールなどの低級アルコール、或いはプロピレングリコール、1,3-ブチレングリコールなどの多価アルコール）又はアセトンなどのケトン類、エチルエーテル、ジオキサン、アセトニトリル、酢酸エチルエステルなどのエステル類、キシレン、ベンゼン、クロロホルムなどの有機溶媒を、単独或いは 2 種類以上の任意の混液として使用することができる。又、各々の溶媒抽出物が組み合わせられた状態でも使用できる。又、抽出後は、濾過して必要に応じ、抽出液を希釈、又は濃縮、乾燥する。

【0010】尚、製造方法は特に制限されるものはないが、通常、常温、常圧下での溶媒の沸点の範囲であれば良く、抽出後は濾過又はイオン交換樹脂を用い、吸着・脱色・精製して溶液状、ペースト状、ゲル状、粉末状とすれば良い。更に多くの場合は、そのままの状態で利用できるが、必要ならば、その効果に影響のない範囲で更に脱臭、脱色などの精製処理を加えても良く、脱臭・脱

色などの精製処理手段としては、活性炭カラムなどを用いれば良く、抽出物質により一般的に適用される通常的手段を任意に選択して行えば良い。

【0011】本発明で使用する植物は、その何れからでも目的効果の高い抽出物が得られる。したがって各々から個別に抽出しても、任意に植物を組み合わせて抽出しても良い。また、各抽出物又は抽出液を混合して使用しても良い。尚、複数の植物抽出物の組み合わせにより保湿効果の持続性がより向上したり、肌荒れやフケ症、カユミに対する改善効果がさらに良好となる結果も得られることから、2種以上の植物抽出物を組み合わせて使用することに十分意義があると考えられる。

【0012】尚、本発明の化粧料組成物、浴用剤及び飲食品は、前記の必須成分に加え必要に応じ、本発明の効果を損なわない範囲内で、下記に例示する成分や添加剤を任意に選択・併用して製造することができる。

【0013】(1)各種油脂類

アボガド油、アーモンド油、ウイキョウ油、エゴマ油、オリーブ油、オレンジ油、オレンジラファ油、ゴマ油、カカオ脂、カミツレ油、カロット油、キューカンバー油、牛脂脂肪酸、クイナッツ油、サフラワー油、シア脂、液状シア脂、大豆油、ツバキ油、トウモロコシ油、ナタネ油、パーシク油、ピマシ油、綿実油、落花生油、タートル油、ミンク油、卵黄油、パーム油、パーム核油、モクロウ、ヤシ油、牛脂、豚脂又はこれら油脂類の水素添加物（硬化油等）など。

【0014】(2)ロウ類

ミツロウ、カルナバロウ、鯨ロウ、ラノリン、液状ラノリン、還元ラノリン、硬質ラノリン、カンデリラロウ、モンタンロウ、セラックロウ、ライスワックス、スクワレン、スクワラン、プリスタンなど。

【0015】(3)鉱物油

流動パラフィン、ワセリン、パラフィン、オゾケライド、セレシン、マイクロクリスタンワックスなど。

【0016】(4)脂肪酸類

ラウリン酸、ミリスチン酸、パルミチン酸、ステアリン酸、ペヘン酸、オレイン酸、12-ヒドロキシステアリン酸、ウンデシレン酸、トール油、ラノリン脂肪酸などの天然脂肪酸、イソノナン酸、カブロン酸、2-エチルブタン酸、イソペンタン酸、2-メチルペンタン酸、2-エチルヘキサン酸、イソペンタン酸などの合成脂肪酸。

【0017】(5)アルコール類

エタノール、イソプロパノール、ラウリルアルコール、セタノール、ステアリルアルコール、オレイルアルコール、ラノリンアルコール、コレステロール、フィトステロールなどの天然アルコール、2-ヘキシルデカノール、イソステアリルアルコール、2-オクチルドデカノールなどの合成アルコール。

【0018】(6)多価アルコール類

酸化エチレン、エチレングリコール、ジエチレングリコ

ール、トリエチレングリコール、エチレングリコールモノエチルエーテル、エチレングリコールモノブチルエーテル、ジエチレングリコールモノメチルエーテル、ジエチレングリコールモノエチルエーテル、ポリエチレングリコール、酸化プロピレン、プロピレングリコール、ポリプロピレングリコール、1,3-ブチレングリコール、グリセリン、ペンタエリトリール、ソルビトール、マンニトールなど。

【0019】(7)エステル類

10 ミリスチン酸イソプロピル、パルミチン酸イソプロピル、ステアリン酸ブチル、ラウリン酸ヘキシル、ミリスチン酸ミリスチル、オレイン酸オレイル、オレイン酸デシル、ミリスチン酸オクチルドデシル、ジメチルオクタノ酸ヘキシルデシル、乳酸セチル、乳酸ミリスチル、フタル酸ジエチル、フタル酸ジブチル、酢酸ラノリン、モノステアリン酸エチレングリコール、モノステアリン酸プロピレングリコール、ジオレイン酸プロピレングリコールなど。

【0020】(8)金属セッケン類

20 ステアリン酸アルミニウム、ステアリン酸マグネシウム、ステアリン酸亜鉛、ステアリン酸カルシウム、パルミチン酸亜鉛、ミリスチン酸マグネシウム、ラウリン酸亜鉛、ウンデシレン酸亜鉛など。

【0021】(9)ガム質、糖類又は水溶性高分子化合物

アラビアゴム、ベンゾインゴム、ダンマルゴム、グアヤク脂、アイルランド苔、カラヤゴム、トラガントゴム、キャロブゴム、クインジード、寒天、カゼイン、乳糖、果糖、ショ糖又はそのエステル、トレハロース又はその誘導体、デキストリン、ゼラチン、ペクチン、デンプン、カラギーナン、カルボキシメチルキチン又はキトサン、エチレンオキシドなどのアルキレン(C2~C4)オキシドが付加されたヒドロキシアルキル(C2~C4)キチン又はキトサン、低分子キチン又はキトサン、キトサン塩、硫酸化キチン又はキトサン、リン酸化キチン又はキトサン、アルギン酸又はその塩、ヒアルロン酸又はその塩、コンドロイチン硫酸又はその塩、ヘパリン、エチルセルロース、メチルセルロース、カルボキシメチルセルロース、カルボキシエチルセルロース、カルボキシエチルセルロースナトリウム、ヒドロキシエチルセルロース、ヒドロキシプロピルセルロース、ニトロセルロース、結晶セルロース、ポリビニルアルコール、ポリビニルメチルエーテル、ポリビニルピロリドン、ポリビニルメタアクリレート、ポリアクリル酸塩、ポリエチレンオキシドやポリプロピレンオキシドなどのポリアルキレンオキシド又はその架橋重合体、カルボキシビニルポリマー、ポリエチレンイミンなど。

【0022】(10)界面活性剤

50 アニオン界面活性剤（アルキルカルボン酸塩、アルキルスルホン酸塩、アルキル硫酸エステル塩、アルキルリン酸エステル塩）、カチオン界面活性剤（アルキルアミン

塩、アルキル四級アンモニウム塩)、両性界面活性剤:カルボン酸型両性界面活性剤(アミノ型、ベタイン型)、硫酸エステル型両性界面活性剤、スルホン酸型両性界面活性剤、リン酸エステル型両性界面活性剤、非イオン界面活性剤(エーテル型非イオン界面活性剤、エーテルエステル型非イオン界面活性剤、エステル型非イオン界面活性剤、ブロックポリマー型非イオン界面活性剤、含窒素型非イオン界面活性剤)、その他の界面活性剤(天然界面活性剤、タンパク質加水分解物の誘導体、高分子界面活性剤、チタン・ケイ素を含む界面活性剤、フッ化炭素系界面活性剤)など。

【0023】(11)各種ビタミン類

ビタミンA群:レチノール、レチナール(ビタミンA1)、デヒドロレチナール(ビタミンA2)、カロチン、リコピン(プロビタミンA)、ビタミンB群:チアミン塩酸塩、チアミン硫酸塩(ビタミンB1)、リボフラビン(ビタミンB2)、ピリドキシン(ビタミンB6)、シアノコバラミン(ビタミンB12)、葉酸類、ニコチン酸類、パントテン酸類、ビオチン類、コリン、イノシトール類、ビタミンC群:ビタミンC又はその誘導体、ビタミンD群:エルゴカルシフェロール(ビタミンD2)、コレカルシフェロール(ビタミンD3)、ジヒドロタキステロール、ビタミンE群:ビタミンE又はその誘導体、ユビキノノール類、ビタミンK群:フィトナジオン(ビタミンK1)、メナキノール(ビタミンK2)、メナジオン(ビタミンK3)、メナジオール(ビタミンK4)、その他、必須脂肪酸(ビタミンF)、カルニチン、フェルラ酸、γ-オリザノール、オロツト酸、ビタミンP類(ルチン、エリオシトリン、ヘスペリジン)、ビタミンUなど。

【0024】(12)各種アミノ酸類

バリン、ロイシン、イソロイシン、トレオニン、メチオニン、フェニルアラニン、トリプトファン、リジン、グリシン、アラニン、アスパラギン、グルタミン、セリン、システイン、シスチン、チロシン、プロリン、ヒドロキシプロリン、アスパラギン酸、グルタミン酸、ヒドロキシリジン、アルギニン、オルニチン、ヒスチジンなどや、それらの硫酸塩、リン酸塩、硝酸塩、クエン酸塩、或いはピロリドンカルボン酸のごときアミノ酸誘導体など。

【0025】(13)植物又は動物系原料由来の種々の添加物

これらは、添加しようとする製品種別、形態に応じて常法的に行われる加工(例えば、粉碎、製粉、洗浄、加水分解、醗酵、精製、圧搾、抽出、分画、ろ過、乾燥、粉末化、造粒、溶解、滅菌、pH調整、脱臭、脱色などを任意に選択、組合わせた処理)を行い、各種の素材から任意に選択して供すれば良い。

【0026】尚、抽出に用いる溶媒については、供する製品の使用目的、種類、或いは後に行う加工処理等を考

慮した上で選択すれば良いが、通常では、水、水溶性有機溶媒(例えば、エタノール、プロピレングリコール、1,3-ブチレングリコールなど)の中から選ばれる1種もしくは2種以上の混液を用いるのが望ましい。但し、用途により有機溶媒の含有が好ましくない場合においては、水のみを使用したり、あるいは抽出後に除去しやすいエタノールを採用し、単独又は水との任意の混液で用いたりすれば良く、又、搾取抽出したものでも良い。

【0027】尚、植物又は動物系原料由来の添加物を、全身用又は局所用の外用剤、化粧品類に供する場合、皮膚や頭髮の保護をはじめ、保湿、感触・風合いの改善、柔軟性の付与、刺激の緩和、芳香によるストレスの緩和、細胞賦活(細胞老化防止)、炎症の抑制、肌質・髪質の改善、肌荒れ防止及びその改善、発毛、育毛、脱毛防止、光沢の付与、清浄効果、疲労の緩和、血流促進、温浴効果などの美容的效果のほか、香付け、消臭、増粘、防腐、緩衝などの効果も期待できる。

【0028】又、飲食品においては、栄養補給、疲労回復、強壮、細胞賦活(細胞老化防止)等の健身並びに美容的效果をはじめ、味覚の改善、色調や芳香、光沢の付与、安定化、増粘、防腐等の目的で使用する事ができる。更にこの他にも、これまでに知られている各原料素材の様々な美容的、薬剤的效果を期待し、これらを組合わせることによって目的とする効果の増進を図ったり、或いは多機能的な効果を期待した製品とすることも可能である。

【0029】原料とする具体的な植物(生薬)としては、例えば、アーモンド(へん桃)、アイ(藍葉)、アオカズラ(清風藤)、アオキ(青木)、アオギリ又はケナシアオギリ(梧桐)、アオツヅラフジ(木防已)、アカシア、アカショウマ(赤升麻)、アカスグリ「果実」、アカブドウ、アカミノキ(ログウッド)、アカメガシワ(赤芽柏)、アカネ(茜草根)、アカヤジロ又はジオウ(地黄)、アギ(阿魏)、アキカラマツ、アキニレ(榔榆皮)、アグアヘ(オオミテングヤシ)、アケビ(木通)、アサ(麻子仁)、マルバアサガオ又はアサガオ(牽牛子)、アジサイ(紫陽花)、アシタバ(明日葉)、アズキ(赤小豆)、アセロラ、アセンヤク(阿仙薬)、アチラ(ショクヨウカンナ)、アニス、アベマキ「果実」、アボカド、アマ、アマチャ(甘茶)、アマチャヅル、アマドコロ(玉竹)、アマナ(光慈姑)、アマランサス(ヒユ、ハゲイトウ、ヒモゲイトウ、センニンコク、スギモリゲイトウ、ホソアオゲイトウ、アオゲイトウ、ハリビユ、アマラントウス・ヒポコンドリアクス)、アミガサユリ又はバイモ(貝母)、アルカナ(アルカンナ)、アルガローボ(キャベ)、アルテア、アルニカ、アルピニア又はカツマダイ(ソウズク)、アロエ(蘆薈)、アロエベラ、アンジェリカ、アンズ又はホンアンズ(杏仁)、アンソッコウ(安息香)、イガコウゾリナ(地胆頭)、イカリソウ又はヤチマタイカリソウ(インヨウカク)、イグサ(灯心草)、イタドリ(虎杖根)、イチイ(一

位)、イチゴ、イチジク(無花果「果実、葉」)、イチハツ(一初)、イチビ(冬葵子)、イチヤクソウ(一葉草)、イチョウ(銀杏「種子、葉」)、イトヒメハギ(遠志)、イナゴマメ、イヌナズナ(テイレキシ)、イヌビユ(ホナガイヌビユ)、イネ「種子、種皮」、イノンド「種子」、イブキジャコウソウ、イラクサ、イランイラン、イワタバコ(岩高菫)、イワヒバ又はイワマツ(巻柏)、ウーロン茶、ウイキョウ(茴香)、ウィート(チブサノキ)、ウキヤガラ(三稜)、ウグイスカグラ「果実」、ヒメウイキョウ、ウコン(鬱金)、ウキクサ(浮萍)、ウスバサイシン又はケイリンサイシン又はオウシュウサイシン(細辛)、ウスベニアオイ、ウスベニタチアオイ、ウツボグサ(夏枯草)、ウド又はシシウド(羌活、独活、唐独活)、ウニヤデガト(ウンカリヤ、キャッツクロウ)、ウバ茶、ウメ(烏梅「種子、果肉」)、ウラジロガシ、ウワウルシ(クサコケモモ)、ウンシュウミカン(陳皮)、エストラゴン、エゾウコギ(蝦夷五加)、エチナシ(ホソバムラサキバレンギク)、エニシダ、エノキタケ(榎茸)、エビスグサ又はカッシア・トーラ(決明子)、エルカンブレ、エルダーベリー「果実」、エレミ、エリンギ又はブレロータスエリンジ、エンジュ(槐花、槐花米)、オウギ又はキバナオウギ(黄耆)、オウレン(黄連)、オオカラスウリ(カロコン)、オオグルマ(土木香)、オオツツラフジ(防己)、オオバコ(車前子、車前草)、オオハシバミ(榛子)、オオバナオケラ又はオケラ(白朮)、オオバナサルスベリ(バナバ)、オオバヤシャブシ「果実」、オオミサンザシ又はサンザシ(山査子)、オウセイ(ナルコユリ、カギクマルバナナルコユリ)、オウヒササノユキ又はササノユキ、オオムギ(大麦)、オオホシグサ(穀精草)、オカ、オカゼリ(蛇床子)、オグルマ(旋覆)、オクラ「果実」、オトギリソウ又はコゴメバオトギリソウ又はセイヨウオトギリソウ(弟切草)、オドリコソウ(続断)、オナモミ(蒼耳子)、オニグルミ、オニドコロ又はトコロ又はナガドコロ(ヒカイ)、オニノヤガラ(天麻)、オニユリ又はササユリ又はハカタユリ(百合)、オノニス、オヒョウ(裂葉榆)、オミナエシ(敗醬)、オユーコ、オランダカラシ(クレソン)、オランダゼリ、オランダミツバ、オリーブ「果実、種子、葉」、オレガノ、オレンジ「果実、果皮」、カイケイジオウ(熟地黄)、カカオ「果実、果皮、種子」、カキ(柿蒂「葉」)、カギカズラ(釣藤鈎)、カキドオシ又はカントリソウ(蓮銭草)、カシア、カキノキ(栲実「果実」)、ガジュツ(莨朮)、カシワ(榭樹、榭葉)、カスカリラ、カスカラサグラダ、カスミソウ、カニクサ(金沙藤)、カニーワ、カノコソウ(吉草根)、カバノキ又はシダレカンバ(白樺)、カボチャ、カボックノキ「種子」、カホクサンショウ(蜀椒)、ガマ(蒲黄)、カミツレ又はローマカミツレ、カミヤツデ(通草)、カムカム(カモカモ)、カラクサケマン、カラスウリ又はシナカラスウリ(王瓜)、カラスビシャク(半夏)、カラスムギ、ガラナ「種子」、カラホオ(厚朴)、カラヤ、カリン(木

瓜)、ガルシニア、カワミドリ、カワラサイコ(委陵菜、翻白草)、カワヂシャ、カワラタケ、カワラナデシコ(石竹)又はエゾカワラナデシコ(瞿麦、瞿麦子)、カワラニンジン(青蒿)、カワラヨモギ(茵陈蒿)、カンスイ(甘遂)、カンゾウ(甘草)、カンタラアサ、カンドリラ、カントウ、カナ、キイチゴ(エゾイチゴ、オランダイチゴ、エビガライチゴ、ナワシロイチゴ、モミジイチゴ、ヨーロッパキイチゴ)、キウイ「果実、葉」、キカラスウリ(瓜呂根)、キキョウ(桔梗、桔梗根)、キク(菊花、シマカンギク、チョウセンノギク)、キササゲ(梓実)、ギシギシ(羊蹄根)、キジツ(枳实)、キズタ、キダチアロエ、キダチハッカ、キナ、キナノキ(シンコーナ、アカキナノキ)、キヌア(キノア)、キハダ(黄柏)、ギムネマ・シルベスタ、キャベツ、キャベブ「未熟果」、ギョリュウ(西河柳、てい柳)、キラジャ・サボナリア、キラヤ、キランソウ(金瘡小草)、キンカン「果実」、キンマ、キンミズヒキ(仙鶴草)、グアバ「果実」、グアユレ、クエルクス・インフェクトリア(没食子)、ククイナツツ、クサスギカズラ(天門冬)、クズ(葛根)、クスノキ、グースベリー「果実」、クソニンジン(黄花蒿)、クチナシ(山梔子)、クヌギ(榎ソウ)、クブアス、クマザサ、クマツヅラ(馬鞭草)、クララ(苦参)、クランベリー「果実」、クリ「種子、果実、渋皮」、クルクリゴ・ラチフォリア「果実」、グレープフルーツ「果実・葉」、クロウメモドキ、クロガネモチ(救必応)、クロバナヒキオコシ又はヒキオコシ(延命草)、クローブ(丁子、丁香)、グンバイナズナ(セキメイ、セキメイシ)、ケイガイ(荊芥、荊芥穂)、ケイトウ(鶏冠花、鶏冠子)、ゲッケイジュ(月桂樹)、ケナシサルトリイバラ(土茯苓、山帰来)、ゲンチアナ、ゲンノショウコ(老鸛草)、ケンボナシ(キグシ)、コウキセツコク、キシユウミカン(コウジ、タチバナ、オオベニミカン、フクレミカン、サガミコウジ、ボンカン、サントラ(橘皮))、コウシンバラ(月季花)、コウスイハッカ、コウゾ「果実」、コウチャ(紅茶)、コウホネ(川骨)、コウホン(藁本、唐藁本)、コウリヤン、コウリョウキョウ(高良姜)、コエンドロ「果実」、コオウレン(胡黄連)、コガネバナ(黄ゴン)、コケモモ(越橘)、ココヤシ「果実」、ゴシユ(吳茱萸)、ゴシヨイチゴ(覆盆子)、コショウ(胡椒)、コバイバナルサム、コーヒー「種子、葉」、コブシ又はモクレン(辛夷)、ゴボウ(牛蒡、牛蒡子)、コボタンヅル、ゴマ(胡麻)、ゴマノハグサ(玄参)、ゴミシ(五味子)、サネカズラ又はビナンカズラ又はマツバサ、コムギ(小麦)、米又は米糠「赤糠、白糠」、コメ油、コーラ・アクミナタ「種子」、コーラ・ベラ「種子」、コロハ「果実」、コロンボ、コンズランゴ、コンブ、コンニャク、コンフリ(鰐張草)、サイザル(サイザルアサ)、サキシマボタンヅル又はシナボタンヅル又はシナセンニンソウ(威靈仙)、サクラ(オオシマザクラ、ヤマザクラ、オオヤマザクラ、エドヒガシ、マメザクラ、ミヤマザクラ、ソメイ

ヨシノ、タカネザクラ、カスミザクラ、チョウジザクラ、コヒガン、サトザクラ、カンザクラ「葉、花、果実、樹皮(桜皮)」)、サクランボ、ザクロ、ササ、サザンカ、サジオモダカ(沢瀉)、サツマイモ、サトウキビ、サトウダイコン、サネブトナツメ(酸漿仁)、サフラン(番紅花、西紅花)、ザボン「果実」、サボンソウ、サーモンベリー「果実」、サラシナショウマ(升麻)、サルビア(セージ)、サワギキョウ(山梗菜)、サワグルミ(山胡桃)、サングレデグラード(クロトン)、サンシクヨウソウ、サンシチニンジン(三七人參)、サンシュユ(山茱萸)、サンショウ(山椒)、サンズコン(山豆根)、シア(カリテ)、シアノキ「果実」、シイタケ(椎茸)、シオン(紫苑)、ジキタリス、シクンシ(使君子)、シソ又はアオジソ又はチリメンジソ又はカタメンジソ(紫蘇葉、紫蘇子)、シタン、シナノキ、シナホオノキ、シナレンギョウ(連翹)、シメジ(ヒンシメジ、シャカシメジ、ハタケシメジ、オシロイシメジ、ブナシメジ、ホンジメシ、シロタモギタケ)、シモツケソウ、ジャガイモ、シャクヤク(芍薬)、シャジン(沙参)、ジャスミン(マツリカ)、ジャノヒゲ(麦門冬)、シュクコンカスミソウ、シュクシャミツ(砂仁、縮砂)、ジュズダマ、シュロ「果実」、ショウガ(生姜)、ジョウザンアジサイ(常山)、ショウブ(菖蒲、菖蒲根)、ショズク「果実」、シラカシ「種子」、シロゴチョウ「種子」、シロトウアズキ(鶏骨草)、シロバナイリス(ニオイイリス)、シロバナツタ「花」、シロミナンテン(南天実)、シンコナサクシルブラ、ジンチョウゲ(瑞香、瑞香花、沈丁花)、シンナモン、スイカ(西瓜)、スイカズラ(金銀花、忍冬)、スイバ(酸模)、スイムベリー「果実」、ステビア、ストロベリー「果実」、スズサイコ(徐長卿)、スギナ(間荆)、スベリヒユ(馬歯けん、馬歯けん子)、スモモ「果実」、セイヨウカラマツ、セイヨウキズタ、セイヨウグルミ、セイヨウサンザシ、セイヨウタンポポ、セイヨウトチノキ(マロニエ)、セイヨウナシ「果実」、セイヨウナツユキソウ、セイヨウニワトコ(エルダー)、セイヨウネズ(ジュニパー、杜松)、セイヨウノコギリソウ(ミルフォイル)、セイヨウバラ、セイヨウフウチョウボク、セイヨウヤドリギ、セイヨウハッカ又はセイヨウヤマハッカ、セイヨウワサビ、セキショウ(石菖根)、セッコク(石斛)、セドロ(ボウシュウボク)、ゼニアオイ、ヒロハセネガ、セネガ、セリ、セロリ、センキュウ(川キュウ)、センシレン(穿心連)、センダン、センブリ(当薬)、センナ「果実、葉」、センニンソウ(大蓼)、ソウカ(草果)、ソバ「種実」、ソメモノイモ、ダイオウ(大黃)、大根、大豆、ダイダイ(橙皮、枳実)、タカサブロウ(旱蓮草)、タカトウダイ(大戟)、タカワラビ(狗脊)、ダークスイートチェリー「果実」、タチアオイ、タチジャコウソウ(タイム、百里香)、タチドコロ(ヒカイ)、タチヤナギ、タマリンド「種子」、タマネギ、タムシバ(辛夷)、タラノキ「果実、葉、根皮」、タルウィ、タンジン(丹参)、タ

ンポポ(蒲公英)又はシロバナタンポポ又はモウコタンポポ、ダンマル、チェリー「果実」、チガヤ「果実、根、芽」、チクセツニンジン(竹節人參)、チコリ、チャンカピエドラ(キダチコミカンソウ)、チョウセンダイオウ(大黃)、チョウセンニレ(蕪夷)、チョウセンヨモギ(艾葉)、チョレイマイタケ(猪苓)、チョロギ、ツキミソウ、ツクリタケ(マッシュルーム)、ツバキ、ツボクサ、ツメクサ(漆姑草)、ツユクサ(鴨跖草)、ツルアズキ(赤小豆)、ツルドクダミ(何首烏)、ツルナ(薔杏)、ツルニンジン(四葉参)、ツワブキ、デイコ、テウチグルミ、デュベリー「果実」、テングサ、テンチャ(甜茶)、テンドイウヤク(烏藥)、トウガ(冬瓜子)、トウカギカズラ、トウガラシ(番椒)、トウキ(当帰)、トウキンセンカ(マリナーゴールド)、トウナベナ(川断)、トウモロコシ又はトウモロコシ毛(南蛮毛)、トウネズミモチ(女貞子)、トウリンドウ又はチョウセンリンドウ(竜胆)、トクサ(木賊)、ドクダミ(十葉)、トコン(吐根)、トシシ又はマメダオシ又はネナシカズラ、トチュウ(杜仲「樹皮、葉、根」)、トネリコ(秦皮)、トマト、トラガント、トリアカンソス「種子」、トルメンチラ、ドロノキ、トロロアオイ、ナイゼリアベリー「果実」、ナガイモ又はヤマノイモ(山藥)、ナギイカダ(ブッチャーブルーム)、ナギナタコウジュ、ナズナ、ナタネ、ナタメメ又はタテハキ(刀豆)、ナツミカン、ナツメ(大棗)、ナニワイバラ(金桜子)、ナベナ(続断)、ナメコ、ナルコユリ(黄精)、ナンキンマメ(落花生)、ナンテン(南天実)、ナンバンカラムシ(苧麻)、ニガキ(苦木)、ニガヨモギ(苦艾)、ニクズク、ケイ又はニッケイ又はセイロンニッケイ又はヤブニッケイ(桂皮)又はケイシ(桂枝)、ニラ(韭子)、ニワトコ(接骨木「果実、花、茎、葉」)、ニンニク(大蒜)、ヌルデ(五倍子)、ネギ、ネムノキ又はネブ又はネビ又はネムリノキ又はジゴクバナ(合歡)、ノアザミ(大薊)、ノイバラ(當実)、ノコギリソウ、ノダケ(前胡)、ノバラ、ノモモ、パーム、パイナップル「果実」、ハイビスカス(ブッソウゲ、フウリンブッソウゲ、ローゼル)、ハイリンドウ、ハカマウラボシ(骨碎補)、ハクセン(白麝皮)、ハクルベリー「果実」、ハコベ(繁縷)、ハシバミ(榛子)、ハシリドコロ(ロート根)、バジル、ハス(蓮、蓮肉、蓮子)、パセリ(オランダゼリ)、ハダカムギ、バタタ、ハチク又はマダケ(竹茹)、パチョリー、ハッカ(薄荷、薄荷葉)、ハトムギ(ヨクイニン)、ハナスゲ(知母)、バナナ、ハナハッカ、ハナビシ(シツリシ、シシツリ)、パニラピンズ、パパイヤ、ハハコグサ(鼠麴草)、パハロボポ、ハブ「全草、茎、葉」、パブリカ、ハマゴウ又はミツバハマゴウ(蔓荊子)、ハマスゲ(香附子)、ハマビシ(シツリ子)、ハマナス(マイカイ花)、ハマボウフウ(浜防風)、ハマメリス、バラ(薔薇)、ハラタケ(ハラタケ、シロオハラタケ、ウスキモリノカサ)、ハラン、パリウルス(セイヨウハマナツメ)、パリエタリア、バルサミーナ(ツルレイシ、ニガウリ)、ハルニレ(榆皮、榆白

皮、榆葉)、ハルリンドウ、ハンダイカイ(胖大海)、パンノキ、ヒオウギ(射干)、ヒカゲツルニンジン(党参)、プーアル茶(普洱茶)、ピーカンナッツ、ヒガンバナ(石蒜、蔓珠沙華)、ヒシ(菱実)、ピスタチオ、ビート、ヒトツバ(石葦)、ヒトツバエニシダ、ヒナタイノコズチ(牛膝)、ヒノキ、ヒバ、ヒマシ、ヒマワリ、ピーマン、ヒメウズ(天葵)、ヒメガマ(香蒲)、ヒメマツタケ(カワリハラタケ、ヒロマツタケ)、ビメンタ「果実」、ビヤクシ、ビヤッキュウ、ヒユ「果実」、ビロウドアオイ、ヒロハオキナグサ(白頭翁)、ピンロウ(大服皮、檳榔子)、フウトウカズラ(南藤)、フキ、フキタンポポ(款冬花、款冬葉)、フジバカマ(蘭草)、フジマメ(扁豆)、ブドウ「果実、果皮、種子、葉」、ブナ、フユムシナツクサタケ(冬虫夏草)、ブラジルカンゾウ、ブラジルニンジン、ブラックカーラント「果実」、ブラックベリー、ブラム「果実」、フルセラリア、ブルーベリー(セイヨウヒメスノキ)、ブルーン、ブロードサイリウム、ブンドウ(緑豆)、ヘーゼルナッツ、ヘチマ、ベニバナ(紅花)、ヘネケン、ペラドンナ、ベリー「果実」、ベルビアンバーク、ベンケイソウ又はイキクサ(景天)、ボイセンベリー「果実」、ホウキギ又はニワクサ又はネンドウ又はハハキギ・コキア(地膚子)、ホウセンカ(鳳仙、急性子、透骨草)、ホウノキ、ボウフウ(防風)、ホウレンソウ、ホオズキ(登呂根)、ホオノキ(和厚朴、朴)、ボケ(木瓜)、ホソバナオケラ(蒼朮)、ホソバノキリンソウ(景天三七)、ホソババレンギク、ボダイジュ(菩提樹)、ボタン(牡丹「花、葉、莖、樹皮」)、ボタンビ(牡丹皮)、ホップ、ホホバ、ボルドー、ホワートルベリー「果実」、ホンオニク(肉じゅ蓉、大芸)、ホンセッコク(鉄皮石斛、雀山石斛)、マイズルテンナンショウ(天南星)、マイタケ(舞茸)、マオウ(麻黄)、マカ、マカデミアナッツ、マクリ(海人草)、マグワ(桑白皮「樹皮、葉」)、マгноリア・スプレングリ、マシユア(タマノウゼンハレン、キュウコンキンレンカ)、マタタビ(木天蓼)、マツカサ、マツホド(茯苓)、マティコ(コルドンシージョ)、マヨラム(ハナハッカ)、マルバノジャジン(苦参)、マルベリー「果実」、マルメロ、マンゴー、マンゴスチン、マンサーニャ(アンデスカミツレ)、マンシュウグルミ、マンダリン「果実」、マンネンタケ(靈芝)、キジツ(枳実「果実」)、ミシマサイコ(柴胡)、ミズオオバコ又はミズアサガオ(竜舌草)、ミゾカクシ(半辺蓮)、ミソハギ(千屈菜)、ミチヤナギ又はニワヤナギ(篇蓄)、ミツガシワ、ミツバ、ミドリハッカ、ミモザ、ミョウガ、ミラクルフルーツ「果実」、ミルラ、ミロバラン、ムギワラギク、ムクゲ(木槿)、ムクノキ、ムクロジ(延命皮)、ムニャ、ムラサキ(紫根)、ムラサキシキブ又はオオムラサキシキブ(紫珠)、ムラサキトウモロコシ、ムラサキナツフジ(昆明鶏血藤)、メハジキ(益母草)、メボウギ、メラロイカ、メリッサ、メリロート、メロン「果実」、モウコヨモギ、モウソウチク、モジェ(コショウボク)、モッコ

ウ(木香)、モミジバダイオウ、モモ(桃「葉、種子、花、果実」)、モヤシ、モレロチェリー「果実」、モロヘイヤ(黄麻)、ヤカウムラサキイモ、ヤクチ(益智)、ヤグルマソウ(ヤグルマギク)、ヤグルマハッカ、ヤーコン、ヤシ、ヤシヤブシ(矢車)又はヒメヤシヤブシ又はオオバヤシヤブシ「果実、果皮、果穂」、ヤチヤナギ、ヤツデ(八角金盤)、ヤドリギ(柳寄生)、ヤナギ(カワヤナギ、タチヤナギ、シダレヤナギ、アカメヤナギ、ネコヤナギ、イヌコリヤナギ、キヌヤナギ、コリヤナギ、ウンリウヤナギ、ミヤマヤナギ、ヤマヤナギ、オオバヤナギ、タイリクキヌヤナギ、キツネヤナギ、ドロノキ)、ヤナギタデ「葉、莖」、ヤブガラシ、ヤブコウジ(紫金牛)、ヤブタバコ(鶴虱、天名精)、ヤマゴボウ(商陸)、ヤマハンノキ(山榛)、ヤマモモ(楊梅皮)、ヤマヨモギ、ユーカリ、ユキノシタ(虎耳草)、ユッカ又はフレビフォリア、ユズ「果実」、ユリ、ヨロイグサ、ヨモギ(艾葉)、ライガン(雷丸)、ライム「果実」、ライムギ、ラカンカ「果実」、ラズベリー「葉、果実」、ラタニア(クラメリア)、ラッキョウ又はエシャロット(薤白)、ラベンダー、リュウガン(竜眼肉)、リュウゼツラン(アオノリュウゼツラン、フクリンリュウゼツラン)、リョクチャ(緑茶)、リンゴ「果実、種子、葉、根」、リンドウ、ルバス又はスアピシムス(甜涼)、レイシ(荔枝、荔枝核)、レタス(チシャ)、レッドカーラント「果実」、レモン「果実」、レモングラス、レンギョウ又はシナレンギョウ(連翹)、レンゲソウ、ロウヤシ、ロコン(ヨシ、蘆根)、ローガンベリー「果実」、ローズマリー(マンネンロウ)、ローズヒップ(ノバラ)、ワサビ、ワレモコウ(地榆)などが挙げられる。

【0030】又、その他の海水類、例えば、海水塩、海水乾燥物、死海又は大西洋又は太平洋の海より得た無機塩(塩化ナトリウム、塩化マグネシウム、塩化カリウムなど)、海泥又は泥(ファンゴ)類、例えば、イタリアファンゴ、ドイツファンゴ、アイフェルファンゴ、フライブルグファンゴなどの各地の海泥又は泥(含有成分:二酸化珪素、二酸化チタン、酸化アルミニウム、酸化鉄、酸化マンガン、酸化ナトリウム、酸化カリウム、酸化マグネシウム、酸化カルシウム、酸化ストロンチウム、ナトリウム、カリウム、マグネシウム、カルシウム、クロム、鉄、銅、ニッケル、亜鉛、鉛、マンガン、ヒ素、水)、聖徳石など。

【0031】海藻類としては、海藻[緑藻類:クロレラ・ブルガリス、クロレラ・ピレノイドサ、クロレラ・エリブソイデア、アオノリ(ウスバアオノリ、スジアオノリ、ヒラアオノリ、ボウアオノリ、ホソエダアオノリ)]、海藻[褐藻類:コンブ(マコンブ、リシリコンブ、ホソメコンブ、ミツイシコンブ)、ワカメ、ヒロメ、アオワカメ、ジャイアントケルプ(マクロシステイス・ピリフェラ、マクロシステイス・インテグリフォリア、ネオシテイス・ルエトケアーナ)、ヒジキ、ヒバマ

タ]、海藻[紅藻類:ヒジリメン、マクサ(テングサ)、ヒラクサ、オニクサ、オバクサ、カタオバクサ、ヤタバグサ、ユイキリ、シマテングサ、トサカノリ、トゲキリンサイ、アマクサキリンサイ、キリンサイ、ビヤクシンキリンサイ、ツノマタ、オオバツノマタ、トチャカ(ヤハズツノマタ)、エゾツノマタ、トゲツノマタ、ヒラコトジ、コトジツノマタ、スギノリ、シキンノリ、カイノリ、イボツノマタ、ヤレウスバノリ、カギウスバノリ、スジウスバノリ、ハイウスバノリ、アカモミジノリ]などが代表的なものとして挙げられる。

【0032】又、その他の藻類、例えば、緑藻類(クラミドモナス属:クラミドモナス、アカユキモ、ドウナリエラ属:ドウナリエラ、クロロコッカス属:クロロコッカス、クワノミモ属:クワノミモ、ボルボックス属:オオヒゲマワリ、ボルボックス、バルメラ属、ヨツメモ属、アオミドロ属:ヒザオリ、アオミドロ、ツルギミドロ属、ヒビミドロ属:ヒビミドロ、アオサ属:アナアオサ、アミアオサ、ナガアオサ、カワノリ属:カワノリ、フリッチエラ属、シオグサ属:オオシオグサ、アサミドリシオグサ、カワシオグサ、マリモ、パロニア属:タマゴパロニア、タマパロニア、マガタマモ属:マガタマモ、イワツタ属:フサイワツタ、スリコギツタ、ヘライワツタ、クロキツタ、ハネモ属、ミル属:ミル、クロミル、サキブチミル、ナガミル、ヒラミル、カサノリ属:カサノリ、ジュズモ属:フトジュズモ、タマジューズモ、ミゾジュズモ、ミカヅキモ属、コレカエテ属、ツヅミモ属、キッコウグサ属:キッコウグサ、ヒトエグサ属:ヒトエグサ、ヒロハノヒトエグサ、ウスヒトエグサ、モツキヒトエ、サヤミドロ属、クンショウモ属、スミレモ属:スミレモ、ホシミドロ属、フシナシミドロ属など)。

【0033】藍藻類(スイゼンジノリ属:スイゼンジノリ、アオコ属、ネンジュモ属:カワタケ、イシクラゲ、ハッサイ、ユレモ属、ラセンモ(スピリリナ)属:スピリリナ、トリコデスミウム(アイアカシオ)属など)。

【0034】褐藻類(ピラエラ属:ピラエラ、シオミドロ属:ナガミシオミドロ、イソブドウ属:イソブドウ、イソガラ属:イソガラ、クロガシラ属:グンセンクロガシラ、カシラザキ属:カシラザキ、ムチモ属:ムチモ、ヒラムチモ、ケベリグサ、アミジグサ属:アミジグサ、サキヒロアミジ、サナダグサ属:サナダグサ、フクリンアミジ、コモングサ属:コモングサ、ヤハズグサ属:エゾヤハズ、ヤハズグサ、ウラボシヤハズ、ジガミグサ属:ジガミグサ、ウミウチワ属:ウミウチワ、コナウミウチワ、アカバウミウチワ、ナミマクラ属:ヒルナミマクラ、ソメワケグサ属:ソメワケグサ、ナバリモ属:ナバリモ、チャソウメン属:モツキチャソウメン、マツモ属:マツモ、ナガマツモ属:ナガマツモ、オキナワモズク属:オキナワモズク、ニセフトモズク属:ニセフトモズク、フトモズク属:フトモズク、イシモズク

属:イシモズク、クロモ属:クロモ、ニセモズク属:ニセモズク、モズク属:モズク、イシゲ属:イシゲ、イロロ、イチメガサ属:イチメガサ、ケヤリ属:ケヤリ、ウミボス属:ウミボス、ウルシグサ属:ウルシグサ、ケウルシグサ、タバコグサ、コンブモドキ属:コンブモドキ、ハバモドキ属:ハバモドキ、ハバノリ属:ハバノリ、セイヨウハバノリ属:セイヨウハバノリ、コモンブクロ属:コモンブクロ、エゾブクロ属:エゾブクロ、フクロノリ属:フクロノリ、ワタモ、チシマフクロノリ

10 属:チシマフクロノリ、カゴメノリ属:カゴメノリ、ムラリドリ属:ムラチドリ、サメズグサ属:サメズグサ、イワヒゲ属:イワヒゲ、ヨコジマノリ属:ヨコジマノリ、カヤモノリ属:カヤモノリ、ウイキョウモ属:ウイキョウモ、ツルモ属:ツルモ、アナメ属:アナメ、スジメ属:スジメ、ミスジコンブ属:ミスジコンブ、アツバミスジコンブ、コンブ属:ガツガラコンブ、カキジマコンブ、オニコンブ、ゴヘイコンブ、ナガコンブ、エンドウコンブ、オオチヂミコンブ、トロロコンブ属:トロロコンブ、アントクメ属:アントクメ、カジメ属:カジメ、ツルアラメ、クロメ、ククイシコンブ属:ククイシコンブ、ネジレコンブ属:ネジレコンブ、クロシオメ属:クロシオメ、ネコアシコンブ属:ネコアシコンブ、アラメ属:アラメ、アイヌワカメ属:アイヌワカメ、チガイソ、オニワカメエゾイシゲ属:エゾイシゲ、ヤバネモク属:ヤバネモク、ラッパモク属:ラッパモク、ジョロモク属:ウガノモク、ジョロモク、ヒエモク、ホンダワラ属:タマナシモク、イソモク、ナガシマモク、アカモク、シダモク、ホンダワラ、ネジモク、ナラサモ、マメタワラ、タツクリ、ヤツマタモク、ウミトラノオ、オオバモク、フシズシモク、ハハキモク、トゲモク、ヨレモク、ノコギリモク、オオバノコギリモク、スギモク属:スギモク、ウキモ属:オオウキモ、ブルウキモ属:ブルウキモ、カヤモノリ属:カヤモノリなど)。

【0035】紅藻類(ウシケノリ属:ウシケノリ、フノリノウシケ、アマノリ属:アサクサノリ、スサビノリ、ウップルイノリ、オニアマノリ、タサ、フイリタサ、ベニタサ、ロドコルトン属:ミルノベニ、アケボノモズク属:アケボノモズク、コナハダ属:ハイコナハダ、ヨゴレコナハダ、アオコナハダ、ウミゾウメン属:ウミゾウメン、ツクモノリ、カモガシラノリ、ベニモズク属:ベニモズク、ホソベニモズク、カサマツ属:カサマツ、フサノリ属:フサノリ、ニセフサノリ属:ニセフサノリ、ソデガラミ属:ソデガラミ、ガラガラ属:ガラガラ、ヒラガラガラ、ヒロハタマイタダキ属:ヒロハタマイタダキ、タマイタダキ属:タマイタダキ、カギケノリ属:カギノリ、カギケノリ、テングサ属:ヒメテングサ、ハイテングサ、オオブサ、ナンブグサ、コヒラ、ヨヒラ、キヌクサ、ヒビロウド属:ヒビロウド、ヒメヒビロウド、イソムメモドキ属:イソムメモドキ、ミチガエソウ属:ミチガエソウ、リュウモンソウ属:リュウモンソウ

ウ、ヘラリユウモン、ニセカレキグサ属：ニセカレキグサ、オキツバラ属：オオバオキツバラ、アカバ属：アカバ、マルバアカバ、ナミノハナ属：ホソバナミノハナ、ナミノハナ、サンゴモドキ属：ガラガラモドキ、シオグサゴロモ属：シオグサゴロモ、イワノカワ属：エツキイワノカワ、カイノカワ属：カイノカワ、カニノテ属：カニノテ、サンゴモ属：サンゴモ、ムカデノリ属：ムカデノリ、スジムカデ、カタノリ、ヒラムカデ、キョウノヒモ、サクラノリ、ニクムカデ、タンバノリ、ツルツル、イソノハナ属：ヌラクサ、クロヌラクサ、オオムカデノリ、ヒラキントキ属：ヒラキントキ、マタボウ属：マタボウ、キントキ属：チャボキントキ、キントキ、マツノリ、コメノリ、トサカマツ、ヒトツマツ、カクレイト属：オオバキントキ、イトフノリ属：イトフノリ、ナガオバネ属：ナガオバネ、フノリ属：ハナフノリ、フクロフノリ、マフノリ、カレキグサ属：カレキグサ、トサカモドキ属：ホソバノトサカモドキ、ヒロハノトサカモドキ、ヤツデガタトサカモドキ、クロトサカモドキ、ネザシノトサカモドキ、キヌハダ属：キヌハダ、エゾトサカ属：エゾトサカ、ツカサノリ属：エナシカリメニア、オオツカサノリ、ハナガタカリメニア、ホウノオ属：ホウノオ、ヒカゲノイト属：ヒカゲノイト、ウスギヌ、ニクホウノオ属：ニクホウノオ、ベニスナゴ属：ベニスナゴ、ススカケベニ属：ススカケベニ、オカムラグサ属：ヤマダグサ、ミリン属：ミリン、ホソバミリン、トサカノリ属：キクトサカ、エゾナメシ属：エゾナメシ、イソモッカ属：イソモッカ、ユカリ属：ユカリ、ホソユカリ、イバラノリ属：イバラノリ、サイダイバラ、タチイバラ、カギイバラノリ、キジノオ属：キジノオ、イソダンツウ属：イソダンツウ、アツバノリ属：アツバノリ、オゴノリ属：オゴノリ、ツルシラモ、シラモ、オオオゴノリ、ミゾオコノリ、カバノリ、テングサモドキ属：ハチジョウテングサモドキ、フシクレノリ属：フシクレノリ、ナミイワタケ属：ナミイワタケ、カイメンソウ属：カイメンソウ、オキツノリ属：オキツノリ、サイミ属：イタニグサ、サイミ、ハリガネ、ハスジグサ属：ハスジグサ、スギノリ属：イカノアシ、ホソイボノリ、ノボノリ、クロハギンナンソウ属：クロハギンナンソウ、アカバギンナンソウ属：アカバギンナンソウ、ヒシブクロ属：ヒシブクロ、マダラグサ属：トゲマダラ、エツキマダラ、タオヤギソウ属：タオヤギソウ、ハナサクラ、フクロツナギ属：フクロツナギ、スジコノリ、ハナノエダ属：ハナノエダ、ヒラタオヤギ属：ヒラタオヤギ、ダルス属：ダルス、マサゴシバリ、アナダルス、ウエバグサ属：ウエバグサ、ベニフクロノリ属：ベニフクロノリ、フシツナギ属：フシツナギ、ヒメフシツナギ、ヒロハフシツナギ、ワツナギソウ属：ヒラワツナギソウ、ウスバワツナギソウ、イギス属：イギス、ケイギス、ハリイギス、ハネイギス、アミクサ、エゴノリ属：エゴノリ、フトイギス、サエダ属：サエダ、チリモミジ属：チリモミ

ジ、コノハノリ科：ハブタエノリ、コノハノリ、スズシロノリ、ウスベニ属：ウスベニ、ハスジギヌ属：ハスジギヌ、ナガコノハノリ属：ナガコノハノリ、スジギヌ属：スジギヌ、アツバスジギヌ、ハイウスバノリ属：カギウスバノリ、ヤレウスバノリ、スジウスバノリ、ハイウスバノリ、ウスバノリモドキ属：ウスバノリモドキ、アヤニシキ属：アヤニシキ、アヤギヌ属：アヤギヌ、ダジア属：エナシダジア、シマダジア属：イソハギ、シマダジア、ダジモドキ属：ダジモドキ、イトグサ属：モロイトグサ、フトイグサ、マクリ属：マクリ、ヤナギノリ属：ハナヤナギ、ユナ、ヤナギノリ、モツレユナ、ベニヤナギコリ、モサヤナギ、ササバヤナギノリ、ソゾ属：クロソゾ、コブソゾ、ハネソゾ、ソゾノハナ、ハネグサ属：ハネグサ、ケハネグサ、コザネモ属：コザネモ、イソムラサキ、ホソコザネモ、ヒメゴケ属：ヒメゴケ、クロヒメゴケ、ヒオドシグ属：キクヒオドシ、ヒオドシグサ、ウスバヒオドシ、アイソメグサ属：アイソメグサ、スジナシグサ属：スジナシグサ、イソバショウ属：イソバショウ、フジマツモ属：フジマツモ、ノコギリヒバ属：ハケサキノコギリヒバ、カワモズク属：カワモズク、アオカワモズク、ヒメカワモズク、イデユコゴメ属：イデユコゴメ、オキチモズク属：オキチモズク、イトグサ属、チノリモ属：チノリモ、チスジノリ属：チスジノリなど。

【0036】車軸藻類（シャジクモ属、シラタマモ属、ホシツリモ属：ホシツリモ、リクノタムヌス属、フラスコモ属：ヒメフラスコモ、チャボフラスコモ、トリペラ属など）、黄色藻類（ヒカリモ属：ヒカリモなど）など。

【0037】又、動物系原料由来の素材としては、鶏冠抽出物、牛又は人の胎盤抽出物、豚又は牛の胃や十二指腸或いは腸の抽出物若しくはその分解物、豚又は牛の脾臓の抽出物若しくはその分解物、豚又は牛の脳組織の抽出物、水溶性コラーゲン、アシル化コラーゲン等のコラーゲン誘導体、コラーゲン加水分解物、エラスチン、エラスチン加水分解物、水溶性エラスチン誘導体、セラチン及びその分解物又はそれらの誘導体、シルク蛋白及びその分解物又はそれらの誘導体、豚又は牛血球蛋白分解物（グロビンペプチド）、豚又は牛ヘモグロビン分解物（ヘミン、ヘマチン、ヘム、プロトヘム、ヘム鉄等）、牛乳、カゼイン及びその分解物又はそれらの誘導体、脱脂粉乳及びその分解物又はそれらの誘導体、ラクトフェリン又はその分解物、鶏卵成分、魚肉分解物など。

【0038】(14)微生物培養代謝物
酵母代謝物、酵母菌抽出エキス、納豆菌代謝物、納豆抽出エキス、米発酵エキス、米糠発酵エキス、ユーグレナ抽出物やトレハロース又はその誘導体など。

【0039】(15) α -ヒドロキシ酸類
グリコール酸、クエン酸、リンゴ酸、酒石酸、乳酸など。

【0040】(16)無機顔料

無水ケイ酸、ケイ酸マグネシウム、タルク、カオリン、ベントナイト、マイカ、雲母チタン、オキシ塩化ビスマス、酸化ジルコニウム、酸化マグネシウム、酸化亜鉛、酸化チタン、炭酸カルシウム、炭酸マグネシウム、黄酸化鉄、ベンガラ、黒酸化鉄、グンジョウ、酸化クロム、水酸化クロム、カーボンブラック、カラミンなど。

【0041】(17)紫外線吸収/遮断剤

ベンゾフェノン誘導体 (2-ヒドロキシ-4-メトキシベンゾフェノン、2-ヒドロキシ-4-メトキシベンゾフェノン-5-スルホン酸、2-ヒドロキシ-4-メトキシベンゾフェノン-5-スルホン酸ナトリウム、ジヒドロキシジメトキシベンゾフェノン、ジヒドロキシジメトキシベンゾフェノン-スルホン酸ナトリウム、2,4-ジヒドロキシベンゾフェノン、テトラヒドロキシベンゾフェノンなど)、p-アミノ安息香酸誘導体 (パラアミノ安息香酸、パラアミノ安息香酸エチル、パラアミノ安息香酸グリセリル、パラジメチルアミノ安息香酸アミル、パラジメチルアミノ安息香酸オクチルなど)、メトキシ桂皮酸誘導体 (パラメトキシ桂皮酸エチル、パラメトキシ桂皮酸イソプロピル、パラメトキシ桂皮酸オクチル、パラメトキシ桂皮酸2-エトキシエチル、パラメトキシ桂皮酸ナトリウム、パラメトキシ桂皮酸カリウム、ジパラメトキシ桂皮酸モノ-2-エチルヘキサン酸グリセリルなど)、サリチル酸誘導体 (サリチル酸オクチル、サリチルフェニル、サリチル酸ホモメンチル、サリチル酸ジプロピレングリコール、サリチル酸エチレングリコール、サリチル酸ミリスチル、サリチル酸メチルなど)、アントラニル酸誘導体 (アントラニル酸メチルなど)、ウロカニン酸誘導体 (ウロカニン酸、ウロカニン酸エチルなど)、クマリン誘導体、アミノ酸系化合物、ベンゾトリアゾール誘導体、テトラゾール誘導体、イミダゾリン誘導体、ピリミジン誘導体、ジオキサン誘導体、カンファー誘導体、フラン誘導体、ピロン誘導体、核酸誘導体、アラントイン誘導体、ニコチン酸誘導体、ビタミンB6誘導体、ウンベリフェロン、エスクリン、桂皮酸ベンジル、シノキサート、オキシベンゾン、ジオキシベンゾン、オクタベンゾン、スリソベンゾン、ベンゾレソルシノール、アルブチン、グアイアズレン、シコニン、バイカリン、バイカレイン、ベルベリン、ネオヘリオパン、エスカロール、酸化亜鉛、タルク、カオリンなど。

【0042】(18)美白剤

p-アミノ安息香酸誘導体、サルチル酸誘導体、アントラニル酸誘導体、クマリン誘導体、アミノ酸系化合物、ベンゾトリアゾール誘導体、テトラゾール誘導体、イミダゾリン誘導体、ピリミジン誘導体、ジオキサン誘導体、カンファー誘導体、フラン誘導体、ピロン誘導体、核酸誘導体、アラントイン誘導体、ニコチン酸誘導体、ビタミンC又はその誘導体 (ビタミンCリン酸エステルマグネシウム塩、ビタミンCグルコシドなど)、ビタミン

ンE又はその誘導体、コウジ酸又はその誘導体、オキシベンゾン、ベンゾフェノン、アルブチン、グアイアズレン、シコニン、バイカリン、バイカレイン、ベルベリン、胎盤エキス、エラグ酸、ルシノールなど。

【0043】(19)チロシナーゼ活性阻害剤

ビタミンC又はその誘導体 (ビタミンCリン酸エステルマグネシウム塩、ビタミンCグルコシドなど)、ハイドロキノン又はその誘導体 (ハイドロキノンベンジルエーテルなど)、コウジ酸又はその誘導体、ビタミンE又はその誘導体、N-アセチルチロシン又はその誘導体、グルタチオン、過酸化水素、過酸化亜鉛、胎盤エキス、エラグ酸、アルブチン、ルシノール、シルク抽出物、植物エキス (カミツレ、クワ、トウキ、ワレモコウ、クララ、ヨモギ、スイカズラ、キハダ、ドクダミ、マツホド、ハトムギ、オドリコソウ、ホップ、サンザシ、ユウカリ、セイヨウノコギリソウ、アルテア、ケイヒ、マンケイシ、ハマメリス、ヤマグワ、延命草、桔梗、トシシ、続随子、射干、麻黄、センキュウ、ドクカツ、サイコ、ボウフウ、ハマボウフウ、オウゴン、牡丹皮、シャクヤク、ゲンノショウコ、葛根、甘草、五倍子、アロエ、ショウマ、紅花、緑茶、紅茶、阿仙葉) など。

【0044】(20)メラニン色素還元/分解物質

フェニル水銀ヘキサクロロフェン、酸化第二水銀、塩化第一水銀、過酸化水素水、過酸化亜鉛、ハイドロキノン又はその誘導体 (ハイドロキノンベンジルエーテル) など。

【0045】(21)ターンオーバーの促進作用/細胞賦活物質

ハイドロキノン、乳酸菌エキス、胎盤エキス、靈芝エキス、ビタミンA、ビタミンE、アラントイン、脾臓エキス、胸腺エキス、酵母エキス、植物エキス (アロエ、オウゴン、スギナ、ゲンチアナ、ゴボウ、シコン、ニンジン、ハマメリス、ホップ、ヨクイニン、オドリコソウ、センブリ、トウキ、トウキンセンカ、アマチャ、オトギリソウ、タチジャコウソウ、ローズマリー、パセリ) など。

【0046】(22)収斂剤

コハク酸、アラントイン、塩化亜鉛、硫酸亜鉛、酸化亜鉛、カラミン、p-フェノールスルホン酸亜鉛、硫酸アルミニウムカリウム、レゾルシン、塩化第二鉄、タンニン酸 (カテキン化合物を含む) など。

【0047】(23)活性酸素消去剤

SOD、カタラーゼ、グルタチオンパーオキシダーゼなど。

【0048】(24)抗酸化剤

ビタミンC又はその塩、ステアリン酸エステル、ビタミンE又はその誘導体、ノルジヒドロゲアセレン酸、ブチルヒドロキシルエン (BHT)、ブチルヒドロキシアニソール (BHA)、ヒドロキシチロソール、パラヒドロキシアニソール、没食子酸プロピル、セサモール、

セサモリン、ゴシボールなど。

【0049】(25)過酸化脂質生成抑制剤

β -カロチン、植物エキス（ゴマ培養細胞、アマチャ、オトギリソウ、ハマメリス、チョウジ、メリッサ、エンメイソウ、シラカバ、セージ、ローズマリー、南天実、エイジツ、イチョウ、緑茶）など。

【0050】(26)抗炎症剤

イクタモール、インドメタシン、カオリン、サリチル酸、サリチル酸ナトリウム、サリチル酸メチル、アセチルサリチル酸、塩酸ジフェンヒドラミン、d-カンフル、dl-カンフル、ヒドロコルチゾン、グアイアズレン、カマズレン、マレイン酸クロロフェニラミン、グリチルリチン酸又はその塩、グリチルレチン酸又はその塩、甘草エキス、シコンエキス、エイジツエキスなど。

【0051】(27)抗菌・殺菌・消毒薬

アクリノール、イオウ、グルコン酸カルシウム、グルコン酸クロロヘキシジン、スルファミン、マーキュロクロム、ラクトフェリン又はその加水分解物、塩化アルキルジアミノエチルグリシン液、トリクロサン、次亜塩素酸ナトリウム、クロラミンT、サラシ粉、ヨウ素化合物、ヨードホルム、ソルビン酸又はその塩、サルチル酸、デヒドロ酢酸、バラヒドロキシ安息香酸エステル類、ウンデシレン酸、チアミンラウリル硫酸塩、チアミンラウリル硝酸塩、フェノール、クレゾール、p-クロロフェノール、p-クロロ-m-キシレノール、p-クロロ-m-クレゾール、チモール、フェネチルアルコール、o-フェニルフェノール、イルガサンCH3565、ハロカルバン、ヘキサクロロフェン、クロロヘキシジン、エタノール、メタノール、イソプロピルアルコール、ベンジルアルコール、エチレングリコール、プロピレングリコール、フェノキシエタノール、クロロブタノール、イソプロピルメチルフェノール、非イオン界面活性剤（ポリオキシエチレンラウリルエーテル、ポリオキシエチレンノニルフェニルエーテル、ポリオキシエチレンオクチルフェニルエーテルなど）、両性界面活性剤、アニオン界面活性剤（ラウリル硫酸ナトリウム、ラウロイルサルコシナリウムなど）、カチオン界面活性剤（臭化セチルトリメチルアンモニウム、塩化ベンザルコニウム、塩化ベンゼトニウム、塩化メチルロザニリン）、ホルムアルデヒド、ヘキサミン、ブリアントグリーン、マラカイトグリーン、クリスタルバイオレット、ジャーマル、感光素101号、感光素201号、感光素401号、N-長鎖アシル塩基性アミノ酸誘導体及びその酸附加塩、酸化亜鉛、ヒノキチオール、クジンなど。

【0052】(28)保湿剤

グリセリン、プロピレングリコール、1,3-ブチレングリコール、ヒアルロン酸又はその塩、ポリエチレングリコール、コンドロイチン硫酸又はその塩、水溶性キチン或いはキトサン誘導体、ピロリドンカルボン酸又はその塩、乳酸ナトリウム、ミニササニシキエキス、納豆菌代

謝物、納豆抽出エキスなど。

【0053】(29)エラスターゼ活性阻害剤

フロオロリン酸ジイソプロピル、植物エキス（オウゴン、オトギリソウ、クララ、桑の葉、ケイヒ、ゲンノシヨウコ、コンフリー、セージ、セイヨウニワトコ、ボダイジュ、ボタンビ）、海藻エキスなど。

【0054】(30)頭髮用剤

二硫化セレン、臭化アルキルイソキノリニウム液、ジシクビリチオン、ビフェナミン、チアントール、カスターチンキ、シヨウキョウチンキ、トウガラシチンキ、塩酸キニーネ、強アンモニア水、臭素酸カリウム、臭素酸ナトリウム、チオグリコール酸など。

【0055】(31)抗アンドロゲン剤

卵胞ホルモン（エストロン、エストラジオール、エチルエストラジオールなど）、イソフラボン、オキシンドロンなど。

【0056】(32)末梢血管血流促進剤

ビタミンE又はその誘導体、センブリエキス、ニンニクエキス、人参エキス、アロエエキス、ゲンチアナエキス、トウキエキス、セファランチン、塩化カルプロニウム、ミノキシジルなど。

【0057】(33)局所刺激剤

トウガラシチンキ、ノニル酸バニルアミド、カンタリスチンキ、シヨウキョウチンキ、ハッカ油、l-メントール、カンフル、ニコチン酸ベンジルなど。

【0058】(34)代謝活性化剤

感光素301号、ヒノキチオール、バントテン酸又はその誘導体、アラントイン、胎盤エキス、ビオチン、ペンタデカン酸グリセリドなど。

【0059】(35)抗脂漏剤

ピリドキシン又はその誘導体、イオウ、ビタミンB6など。

【0060】(36)角質溶解剤

レゾルシン、サリチル酸、乳酸など。

【0061】(37)酸化剤

過酸化水素水、過硫酸ナトリウム、過硫酸アンモニウム、過ホウ酸ナトリウム、過酸化尿素、過炭酸ナトリウム、過酸化トリポリリン酸ナトリウム、臭素酸ナトリウム、臭素酸カリウム、過酸化ピロリン酸ナトリウム、過酸化オルソリン酸ナトリウム、ケイ酸ナトリウム過酸化水素付加体、硫酸ナトリウム塩化ナトリウム過酸化水素付加体、 β -チロシナーゼ酵素液、マッシュルーム抽出液など。

【0062】(38)除毛剤

硫酸ストロンチウム、硫化ナトリウム、硫化バリウム、硫化カルシウムなどの無機系還元剤、チオグリコール酸又はその塩類（チオグリコール酸カルシウム、チオグリコール酸ナトリウム、チオグリコール酸リチウム、チオグリコール酸マグネシウム、チオグリコール酸ストロンチウム）など。

【0063】(39)毛髪膨潤剤

エタノールアミン、尿素、グアニジンなど。

【0064】(40)染料剤

5-アミノオルトクレゾール、2-アミノ-4-ニトロフェノール、2-アミノ-5-ニトロフェノール、1-アミノ-4-メチルアミノアントラキノン、3,3'-イミノジフェノール、塩酸2,4-ジアミノフェノキシエタノール、塩酸2,4-ジアミノフェノール、塩酸トルエン-2,5-ジアミン、塩酸ニトロパラフェニレンジアミン、塩酸パラフェニレンジアミン、塩酸N-フェニルパラフェニレンジアミン、塩酸メタフェニレンジアミン、オルトアミノフェノール、酢酸N-フェニルパラフェニレンジアミン、1,4-ジアミノアントラキノン、2,6-ジアミノピリジン、1,5-ジヒドロキシナフタレン、トルエン-2,5-ジアミン、トルエン-3,4-ジアミン、ニトロパラフェニレンジアミン、パラアミノフェノール、パラニトロオルトフェニレンジアミン、パラフェニレンジアミン、パラメチルアミノフェノール、ピクラミン酸、ピクラミン酸ナトリウム、N,N'-ビス(4-アミノフェニル)-2,5-ジアミノ-1,4-キノンジイミン、5-(2-ヒドロキシエチルアミノ)-2-メチルフェノール、N-フェニルパラフェニレンジアミン、メタアミノフェノール、メタフェニレンジアミン、硫酸5-アミノオルトクレゾール、硫酸2-アミノ-5-ニトロフェノール、硫酸オルトアミノフェノール、硫酸オルトクロルパラフェニレンジアミン、硫酸4,4'-ジアミノジフェニルアミン、硫酸2,4-ジアミノフェノール、硫酸トルエン-2,5-ジアミン、硫酸ニトロパラフェニレンジアミン、硫酸パラアミノフェノール、硫酸パラニトロオルトフェニレンジアミン、硫酸パラニトロメタフェニレンジアミン、硫酸パラフェニレンジアミン、硫酸パラメチルアミノフェノール、硫酸メタアミノフェノール、硫酸メタフェニレンジアミン、カテコール、ジフェニルアミン、 α -ナフトール、ヒドロキノン、ピロガロール、フロログルシン、没食子酸、レゾルシン、タンニン酸、2-ヒドロキシ-5-ニトロ-2',4'-ジアミノアゾベンゼン-5'-スルホン酸ナトリウム、ヘマテインなど。

【0065】(41)香料

ジャコウ、シベット、カストリウム、アンバーgrisなどの天然動物性香料、アニス精油、アンゲリカ精油、イランイラン精油、イリス精油、ウイキョウ精油、オレンジ精油、カナンガ精油、カラウエー精油、カルダモン精油、グアヤクウッド精油、クミン精油、黒文字精油、ケイ皮精油、シンナモン精油、ゲラニウム精油、コパイバルサム精油、コリアンデル精油、シソ精油、シダーウッド精油、シトロネラ精油、ジャスミン精油、ジンジャーグラス精油、杉精油、スペアミント精油、西洋ハッカ精油、大茴香精油、チューベローズ精油、丁字精油、橙花精油、冬緑精油、トルーバルサム精油、パチュリー精油、バラ精油、パルマローザ精油、桧精油、ヒバ精油、白檀精油、プチグレン精油、ベイ精油、ベチバ精油、ベ

ルガモット精油、ペルーバルサム精油、ボアドローズ精油、芳樟精油、マンダリン精油、ユーカリ精油、ライム精油、ラベンダー精油、リナロエ精油、レモングラス精油、レモン精油、ローズマリー精油、和種ハッカ精油などの植物性香料、その他合成香料など。

【0066】(42)色素・着色剤

赤キャベツ色素、赤米色素、アカネ色素、アナトー色素、イカスミ色素、ウコン色素、エンジュ色素、オキアミ色素、柿色素、カラメル、金、銀、クチナシ色素、コーン色素、タマネギ色素、タマリンド色素、スピルリナ色素、ソバ全草色素、チェリー色素、海苔色素、ハイビスカス色素、ブドウ果汁色素、マリーゴールド色素、紫イモ色素、紫ヤマイモ色素、ラック色素、ルチンなど。

【0067】その他、ホルモン類、金属イオン封鎖剤、pH調整剤、キレート剤、防腐・防バイ剤、清涼剤、安定化剤、乳化剤、動・植物性蛋白質又はその分解物、動・植物性多糖類又はその分解物、動・植物性糖蛋白質又はその分解物、消炎剤・抗アレルギー剤、創傷治療剤、気泡・増泡剤、増粘剤、口腔用剤、消臭・脱臭剤、酵素などが上げられ、これらとの併用によって、相加的又は相乗的な各種の効果が期待できる。

【0068】本発明の化粧料組成物、浴用剤組成物、洗剤組成物は、それぞれ液状、乳液状、ペースト状、ゲル状、パウダー状（粉末状）、顆粒状、ペレット状、スティック状、固形状等の何れの形態として提供されてもよい。

【0069】化粧料組成物としては、化粧水（ローション）、乳液、クリーム、オイル、軟膏、パック、リップ、口紅、ファンデーション、アイライナー、頬紅、マスカラ、アイシャドウ、マニキュア・ペディキュア、爪被覆剤、爪被覆除去剤、ひげ剃り用剤、シャンプー、リンス、ヘアトリートメント、ヘアトニック、ヘアスプレー、ヘアクリーム、ヘアローション、整髪料、育毛料、パーマメント液、染毛料、ハンドソープ・ボディソープ、歯磨き剤、洗口料、洗顔料・石鹸類等が上げられる。

【0070】浴用剤組成物は、入浴時、浴湯に投じて使用するもので、液状、粉末状、顆粒状、固形状など性状は何れであってもよい。

【0071】洗剤組成物は、日常的に使用する台所用洗剤、浴室、洗面器又はトイレ用洗剤、ガラス用クリーナー、メガネ・コンタクトレンズ洗浄剤、車用洗浄剤、建材クリーナーなどが上げられる。

【0072】その他、衛生用品、ウェットタイプのティッシュペーパー、紙タオル、コットンなどに含浸させておくこともできる。

【0073】本発明の化粧料組成物および洗剤組成物においては保湿性植物抽出物は、乾燥エキス分として0.001~5重量%程度、好ましくは0.01~1重量%程度含有していると使用性および良好な効果が得られる。また浴

用剤組成物においては、浴湯中における濃度が0.00001～0.01重量%、好ましくは0.0005～0.005重量%程度となる1回分使用量を設定するとよい。

【0074】

【発明の実施の形態】

【実施例】植物抽出物の製造例1

植物(1kg)に対し、30%エタノール(EtOH)水溶液(10L)を添加し、常温で3日間浸漬抽出する。尚、1日に2～3回軽く攪拌するとよい。次いで、これを濾過して抽出液を得る。必要に応じ、抽出液を濃縮、又はさらに乾燥する。

【0075】

【実施例】植物抽出物の製造例2

植物(1kg)に対し、30%1,3-ブチレングリコール(BG)水溶液(10L)または30%プロピレングリコール(PG)水溶液(10L)を添加し、常温で3日間浸漬抽出する。尚、1日に2～3回軽く攪拌するとよい。次いで、これを濾過して抽出液を得る。

【0076】

【実施例】植物抽出物の製造例3

植物(1kg)に対し、精製水(10L)を添加し、加熱抽出する。尚、時々2～3回軽く攪拌するとよい。次いで、これを濾過して抽出液を得る。必要に応じ、抽出液を濃縮、又はさらに乾燥する。

【0077】

【実施例】安全性試験

(1)皮膚一次刺激性試験

製造例1～3で得た各植物抽出物を溶解した水溶液(固形分濃度5.0%)を調整し、背部を除毛したハートレー系モルモット(1群5匹、体重340g前後)の皮膚に貼付した。判定は、貼付後24時間に一次刺激性の評点法により紅斑および浮腫を指標として行った。その結果、すべての動物において、何等、紅斑および浮腫を認めず陰性と2判定された。

【0078】(2)皮膚累積刺激性試験

製造例1～3で得た各植物抽出物を溶解した水溶液(固形分濃度5.0%)を調整し、側腹部を除毛したハートレー系モルモット(雌性、1群5匹、体重330g前後)の皮膚に1日1回の頻度で、週5回、0.5mL/動物当りを塗布した。塗布は、2週にわたって行い、また除毛は各週の最終塗布日に行った。判定は、各週の最終日の翌日に一次刺激性の評点法により、紅斑および浮腫を指標として行った。その結果、すべての動物において、塗布後1～2週目にわたり何等紅斑および浮腫を認めず陰性と判定された。

【0079】

【実施例】植物抽出物の保湿性1

本発明の植物抽出物の保湿性を評価するため、モニターによる角層水分含有量の経時変化を電気伝導度を測定することにより求めた。

(試料溶液) 各植物の精製水抽出液(固形分濃度0.01%に調整)

(測定器) IMPEDANCE METER SKICON-200; IBS株式会社製

(モニター) 20才女性、22才女性、25才女性

(試験環境) 24℃、50%RH

(方法) 試験1時間前より試験環境に調整された恒温恒湿室にモニターを入室させ、安定させる。その後、モニターの前腕屈側に各試料溶液(1mL)を塗布し、60秒後に余剰な水分を除去し、角層の電気伝導度を経時的に測定する。

【0080】図1～3はその結果である。本発明による植物抽出物は同固形分濃度のアロエベラ抽出物(比較例)より、保湿効果が高くかつ長く維持されていることが判明した。また、異なる植物抽出物の組み合わせによって相乗効果が得られることが確認された。

【0081】

【実施例】植物抽出物の保湿性2

本発明の植物抽出物の保湿性を評価するため、モニターによる経表皮水分喪失量の経時変化を測定した。

(試料溶液) 各植物の30%EtOH抽出物の水溶液(固形分濃度0.01%に調整)

(測定器) TEWAMETER TM210; COURAGE+KHAZAKA Electronic GmbH製

(モニター) 23才女性、30才男性、25才女性、35才女性、37才男性

(方法) モニターの左右前腕屈側に各試料水溶液(1mL)を1日3回塗布する。3回目の塗布後、恒温恒湿室(24℃、50%RH)にて1時間安定させた後、経表皮水分喪失量の測定を始める。測定は、2秒間隔で3分間測定し、全数値の平均値を被検部位のTEWL値とする。尚、各々のブランクは検体塗布前に同条件にて測定した。

【0082】表1、2は5名のモニターの平均水分変化量の結果である。本発明による植物抽出物は経表皮水分蒸発量を抑制し、保湿作用を示すことが判明した。また、複数の植物抽出物の組み合わせによりさらに良好な結果が得られた。

【0083】

〈表1〉

試料溶液	経皮水分蒸散量 (g/m ² hr)
ブランク	18.4
精製水	14.3
キュウリ	8.2
オタネニンジン	8.3
クコ	9.1
ビワ	8.5
マツ	9.4
発酵乳	8.7
比較対象：アロエベラ	10.1

【0084】

〈表2〉

試料溶液	経皮水分蒸散量 (g/m ² hr)
キュウリ+オタネニンジン	7.5
キュウリ+クコ	8.0
キュウリ+ビワ	7.7
キュウリ+発酵乳	7.9
キュウリ+マツ	7.8
オタネニンジン+クコ	8.1
オタネニンジン+ビワ	8.2
オタネニンジン+発酵乳	7.9
オタネニンジン+マツ	8.0
クコ+ビワ	8.1
クコ+発酵乳	8.2
クコ+マツ	8.5
ビワ+発酵乳	8.2
ビワ+マツ	8.1
発酵乳+マツ	7.9

【0085】

【実施例】肌荒れ改善効果

製造例1～3で得た植物抽出液の肌荒れに対する改善効果を評価するため、肌荒れモデルを作成したモルモットを使用し、適用試験を実施した。尚、検体は同一の固形分濃度に調整し、また比較対象として溶媒のみについても実施した。

* (方法) 背部を除毛したハートレー系モルモット(雌性、5週齢、1群3匹)に、白色ワセリンにて3重量%に調整したラウリル硫酸ナトリウム(0.2g)を3日間連続解放塗布して肌荒れを作成した。肌荒れ作成部位を4分し、各検体(1.0mL)を3回/日塗布し、3日後観察により定められた判定基準(スコア)に従い肌荒れ度を評価した。

(判定基準) 紅斑、落屑ともほとんどみられない 1点
 紅斑を伴わない軽度の落屑 2点
 紅斑を伴わない中等度の落屑 3点
 弱い紅斑を伴った落屑 4点
 中等度の紅斑を伴った落屑 5点
 著しい紅斑を伴った落屑 6点

【0086】結果は表3の通りであった。本発明の植物抽出物は、肌荒れ改善に有効であると認められた。ま

た、異なる植物抽出物の組み合わせによって相乗的效果が得られることが確認された。

27
〈表3〉

28

群	試験検体 (固形分濃度)	スコア合計
1	キュウリ30%1, 3-BG抽出液(0.01%)	9
	キュウリ30%EtOH抽出液(0.01%)	10
	30%1, 3-BG溶液	16
	30%EtOH溶液	19
2	オタネニンジン30%1, 3-BG抽出液(0.01%)	11
	オタネニンジン30%EtOH抽出液(0.01%)	11
	30%1, 3-BG溶液	17
	30%EtOH溶液	19
3	クコ熱水抽出液(0.01%)	10
	クコ30%1, 3-BG抽出液(0.01%)	9
	精製水	15
	30%1, 3-BG溶液	16
4	ビワ熱水抽出液(0.01%)	12
	ビワ30%EtOH抽出液(0.01%)	11
	精製水	15
	30%EtOH溶液	19
5	マツ30%EtOH抽出液(0.01%)	10
	マツ熱水抽出液(0.01%)	11
	30%EtOH溶液	18
	精製水	17
6	発酵乳30%EtOH抽出液(0.01%)	11
	発酵乳30%1, 3-BG抽出液(0.01%)	10
	30%EtOH溶液	17
	30%1, 3-BG溶液	16
7	(キュウリ+オタネニンジン)熱水抽出液(0.01%)	9
	(キュウリ+クコ)30%1, 3-BG抽出液(0.01%)	7
	(キュウリ+ビワ)30%EtOH抽出液(0.01%)	9
	(キュウリ+発酵乳)30%1, 3-BG抽出液(0.01%)	8
8	(キュウリ+マツ)30%1, 3-BG抽出液(0.01%)	7
	(オタネニンジン+クコ)熱水抽出液(0.01%)	8
	(オタネニンジン+ビワ)30%1, 3-BG抽出液(0.01%)	8
	(オタネニンジン+発酵乳)30%EtOH抽出液(0.01%)	9
	(オタネニンジン+マツ)熱水抽出液(0.01%)	9

29		30
9	(クコ+ビワ)30%EtOH抽出液(0.01%)	9
	(クコ+発酵乳)30%1,3-BG抽出液(0.01%)	8
	(クコ+マツ)熱水抽出液(0.01%)	9
10	(ビワ+発酵乳)30%1,3-BG抽出液(0.01%)	7
	(ビワ+マツ)30%1,3-BG抽出液(0.01%)	7
	(発酵乳+マツ)熱水抽出液(0.01%)	8
	(キュウリ+オタネニンジン+クコ)30%EtOH抽出液(0.01%)	8
11	(オタネニンジン+クコ+ビワ)30%EtOH抽出液(0.01%)	7
	(クコ+ビワ+発酵乳)30%EtOH抽出液(0.01%)	7
	(ビワ+発酵乳+マツ)30%1,3-BG抽出液(0.01%)	7
	(発酵乳+マツ+キュウリ)30%1,3-BG抽出液(0.01%)	6

【0087】

【実施例】各種外用剤組成物の製造

本発明による各種外用剤組成物を製造した。以下にその

処方例を示すが、本発明はこれらに限定されるわけではない。

【0088】

(1)ローションの製造例

	重量%
1. ソルビット	2
2. 1,3-ブチレングリコール	2
3. ポリエチレングリコール1000	1
4. ポリオキシエチレンオレイルエーテル (25E.O.)	2
5. エタノール	10
6. マツ50%EtOH抽出液 (固形分1.2%)	2
7. クコ30%1,3-BG抽出液 (固形分1.2%)	1
8. 防腐剤	適量
9. 精製水	100とする残余

【0089】

(2)乳液の製造例

	重量%
1. スクワラン	3
2. ワセリン	1
3. ステアリルアルコール	0.3
4. ソルビタンモノステアレート	1.5
5. ポリオキシエチレン(20)ソルビタンモノオレート	3
6. 1,3-ブチレングリコール	5
7. 発酵乳精製水抽出液 (固形分1.0%)	1
8. オタネニンジン50%1,3-BG抽出液 (固形分1.0%)	2
9. 精製水	100とする残余

【0090】

(3)クリーム of 製造例

	重量%
1. スクワラン	20
2. ミツロウ	5
3. 精製ホホバ油	5
4. グリセリンモノステアレート	2
5. ソルビタンモノステアレート	2
6. ポリオキシエチレン(20)ソルビタンモノステアレート	2
7. グリセリン	5

31		32
8. キュウリ50%1,3-BG抽出液 (固形分1.5%)		2
9. 発酵乳30%1,3-BG抽出液 (固形分1.0%)		2
10. 精製水	100とする残余	

【0091】

(4) ボディーソープの製造例

	重量%
1. ラウリン酸カリウム	15
2. ミリスチン酸カリウム	5
3. プロピレングリコール	5
4. ビワ20%PG抽出液 (固形分1.1%)	4
5. キュウリ30%EtOH抽出液 (固形分1.4%)	3
6. pH調整剤	適量
7. 防腐剤	適量
8. 精製水	100とする残余

【0092】

(5) シャンプー

	重量%
1. ラウリル硫酸トリエタノールアミン	5
2. ポリオキシエチレンラウリルエーテル硫酸Na	12
3. 1,3-ブチレングリコール	4
4. ラウリン酸ジエタノールアミド	2
5. エデト酸二ナトリウム	0.1
6. オタネニンジン20%PG抽出液 (固形分1.1%)	3
7. クコ40%PG抽出液 (固形分1.4%)	2
8. 香料, 防腐剤	適量
9. 精製水	100とする残余

【0093】

(6) リンス

	重量%
1. 塩化ステアリルトリメチルアンモニウム	2
2. セトステアリルアルコール	2
3. ポリオキシエチレンラノリンエーテル	3
4. プロピレングリコール	5
5. キュウリ精製水抽出液 (固形分1.3%)	1
6. 発酵乳30%1,3-BG抽出液 (固形分1.0%)	2
7. pH調整剤	適量
8. 防腐剤	適量
9. 精製水	100とする残余

【0094】

(7) ヘアトニック

	重量%
1. エタノール	50
2. オレイン酸エチル	1
3. ポリオキシエチレン(40)硬化ヒマシ油	2
4. キュウリ40%EtOH抽出液 (固形分1.2%)	2
5. マツ30%EtOH抽出液 (固形分1.2%)	3
6. 精製水	100とする残余

【0095】

(8) 浴用剤 (Aタイプ) の製造例

重量%

33

1. 炭酸水素ナトリウム	56
2. 無水硫酸ナトリウム	30
3. ホウ砂	2
4. 発酵乳30%EtOH抽出濃縮液(固形分15%)	5
5. クコ40%EtOH抽出濃縮液(固形分15%)	4
6. 植物抽出末(カミツレ, トウキ)	2
7. 精製水	100とする残余

【0096】

(9)浴用剤(Bタイプ)の製造例

	重量%
1. 精製ホホバ油	5
2. ポリオキシエチレンソルビタンモノラウレート	20
3. グリセリンモノステアレート	5
4. 流動パラフィン	2
5. ラウリン酸ジエタノールアミド	3
6. オタネニンジン熱水抽出濃縮液(固形分15%)	3
7. ビワ20%EtOH抽出濃縮液(固形分15%)	2
8. 植物抽出液(センキュウ, チンピ, 固形分1.0%)	10
9. 精製水	100とする残余

【0097】

20

(10)洗顔料の製造例

	重量%
1. ミリスチン酸トリエタノールアミン	15
2. ラウリルジメチルアミノオキシド	3
3. プロピレングリコール	5
4. グリセリン	5
5. 変性エタノール	3
6. キュウリ30%EtOH抽出液(固形分1.0%)	3
7. マツ50%PG抽出液(固形分1.1%)	2
8. エチレングリコールジステアaryl	3
9. 精製水	100とする残余

【0098】

(11)洗口料の製造例

	重量%
1. エタノール	30
2. グリセリン	15
3. ポリオキシエチレン硬化ヒマシ油	1
4. サッカリン	0.1
5. クロロヘキシジン	0.003
6. ビワ熱水抽出液(固形分1.0%)	4
7. 発酵乳50%EtOH抽出液(固形分1.0%)	2
8. 精製水	100とする残余

【0099】

(12)食器用洗剤の製造例

	重量%
1. アルキル(C12)グリコシド	15
2. ポリオキシエチレン(3)ドデシルエーテル硫酸Na	10
3. クコ20%EtOH抽出液(固形分1.2%)	2
4. オタネニンジン30%1,3-BG抽出液(固形分1.0%)	2
5. エタノール	5

6. 精製水

100とする残余

【0100】

【実施例】各種外用剤組成物の使用試験

(1)実施要領

実施例で製造した乳液、浴用剤A、シャンプー、リンス、ヘアトニック、食器用洗剤を試験品(a)とし、男女パネラー(全10名)による使用試験を実施した。比較*

*品(b)として各外用剤組成物の処方中、本発明の保湿性植物抽出液又は抽出物をのぞいたものを準備し、試験開始後1カ月間は試験品(a)を、次いで翌1カ月間は比較品(b)を下記条件で使用してもらいアンケートによる回答を求めた。

【0101】

(2)使用条件

乳液 : 朝洗顔直後、夜入浴直後、顔に適用。各3mL, 各1回/日
 浴用剤A : 浴湯に投じ入浴、30g, 1回/日
 シャンプー : 洗髪時に使用、10mL, 1回/日
 リンス : シャンプー直後に使用、10mL, 1回/日
 ヘアトニック : 洗髪後に使用、10mL, 1回/日
 食器用洗剤 : 随時

【0102】(3)アンケート結果

アンケートによる回答結果を表4に示す。

(表4)

使用試験アンケート結果(数値:人数)										
アンケート項目	乳 液		浴用剤 A		シャンプー リンス		ヘアト ニック		食器用 洗剤	
(良好な方を選択)	a	b	a	b	a	b	a	b	a	b
しっとり感(保湿感)	9	1	8	2	8	2	9	1	9	1
保湿感の持続性	9	1	10	0	9	1	8	2	9	1
使用時の感触性	6	4	7	3	6	4	7	3	7	3
柔軟性付与(肌/髪)	9	1	8	2	7	3	9	1	7	3
肌荒れの予防/改善	10	0	9	1	—	—	—	—	8	2
(a)が優れていたと思う自由な意見(代表例) ・肌質が改善されたと思う。メイクのノリが良くなった。(乳液) ・以前に比べ、肌に弾力感を感じる。(乳液) ・浴後、背中やひじ・ひざのカサツキがなくなった。(浴用剤A) ・浴後、背中のツツパリ感やカユミがなくなった。(浴用剤A) ・洗髪後、髪がきしんだりバサつかない。(シャンプー/リンス) ・髪が適度にしっとりし、また柔軟で整髪性がよい。(ヘアトニック) ・髪がツツやつやし、光沢がでてきた。(ヘアトニック) ・手荒れが次第に改善された。(食器用洗剤)										

【0103】

【発明の効果】本発明の化粧料、浴用剤は、長時間保湿効果が継続する保湿性植物成分を含有し、皮膚に対しては、乾燥、肌荒れ、ヒビ、アカギレ、フケ、カユミ、炎症性疾患等の予防、軽減又は改善に、又、毛髪に対しては、乾燥、バサツキ、枝毛、切れ毛、光沢付与等に奏効する。また、従来、肌荒れ、ヒビ、アカギレ等のスキントラブルが懸念されてきた家庭用洗剤などにおいても、保湿性植物抽出物がこのようなトラブルを起りにくいように緩和し、肌をいたわる洗剤組成物を提供すること

ができる。

【図面の簡単な説明】

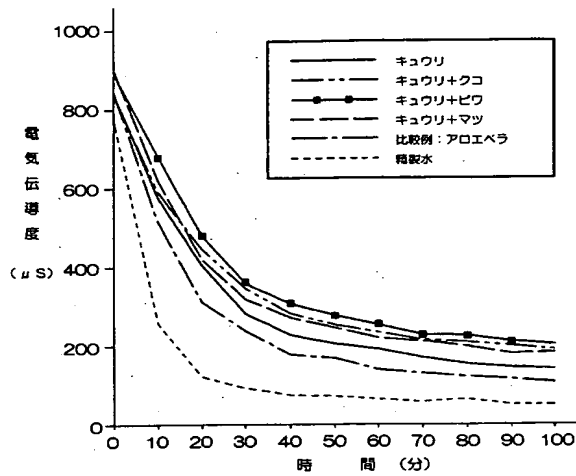
【図1】 キュウリ抽出液、キュウリ及び他の植物抽出液混合物の適用部位における皮膚電気伝導度の経時変化(実施例:植物抽出物の保湿性1)

【図2】 オタネニンジン抽出液、オタネニンジン及び他の植物抽出液混合物の適用部位における皮膚電気伝導度の経時変化(実施例:植物抽出物の保湿性1)

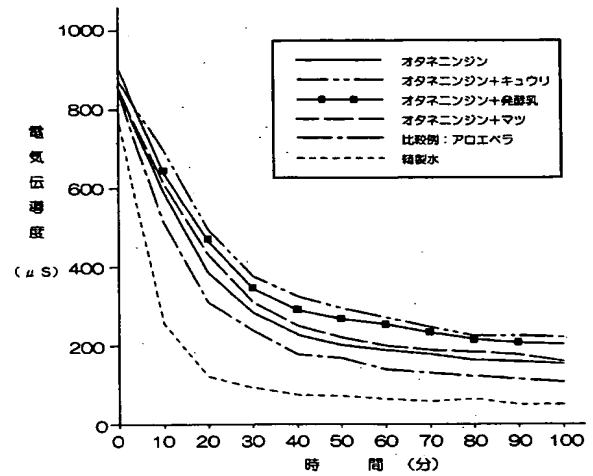
【図3】 クコ抽出液、クコ及び他の植物抽出液混合物の適用部位における皮膚電気伝導度の経時変化(実施

例：植物抽出物の保湿性 1)

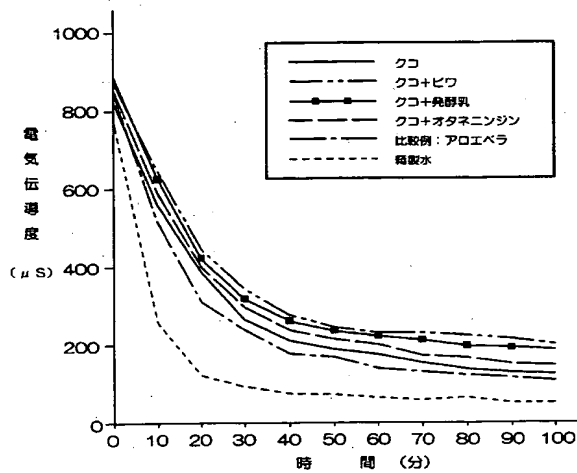
【図 1】



【図 2】



【図 3】



フロントページの続き

(51) Int. Cl.⁷

A 61 K 31/00
C 11 D 3/386
7/44

識別記号

6 1 7

F I

A 61 K 31/00
C 11 D 3/386
7/44

テマート(参考)

6 1 7 J

Fターム(参考) 4C083 AA031 AA032 AA082 AA111
AA112 AA122 AB272 AB312
AB352 AC012 AC022 AC072
AC102 AC122 AC132 AC182
AC242 AC352 AC422 AC432
AC442 AC532 AC562 AC642
AC692 AC742 AC862 AD042
CC04 CC23 CC25 CC33 CC38
CC39 CC41 DD23 DD27 DD31
EE06 EE10 EE12 EE13 EE23
EE29 EE41
4H003 AB27 AB31 AB46 AC05 AC13
BA01 BA09 BA12 DA02 DA05
DA06 DA08 DA11 DA16 DA17
EB16 EB43 ED02 ED28 FA33